

かわさき

# 農家だより

発行 川崎市農業振興センター  
〒213-0015  
川崎市高津区梶ヶ谷 2 - 1 - 7  
電話 044-860-2462  
F A X 044-860-2464



わたしたち、農家のお手伝いをします。



摘果の作業風景

人工受粉の作業風景



## 多摩川ナシ 栽培支援講座 始まる

川崎市はナシ栽培農家を支援するため、「多摩川ナシ栽培支援講座」を開講しました。ナシ栽培農家を手伝いたいという気持ちのある市民（抽選で選ばれた20人）に、ナシの栽培管理の理論と実技を2年間で習得していただきます。今年度は11回の講座を行う予定で、既に人工受粉、摘<sup>てきらい</sup>蓄<sup>てきか</sup>・摘果、袋かけなどの作業を行いました。今後は、新梢<sup>しんしょう</sup>管理、収穫、剪定などの作業を行います。

講座を修了した後は、ナシ栽培農家の栽培管理をお手伝いすることになっています。平成19年度からお手伝いする予定ですので、希望される方は是非御検討ください。

【問い合わせ先 フルーツパーク 945-0153】

# かわさき「農」の新生プラン推進会議行われる

川崎市では、平成 17 年 3 月に「かわさき『農』の新生プラン」を策定し、平成 17 年度から、これまでの経済的価値を重視した「農業」の施策に加え、食の安全・安心の確保を図るとともに、多くの市民が「農」のある生活を享受することができるよう、広い意味での施策展開に取り組んでいます。そしてこの「農」の施策のあり方を検討するための、農家、市民、農業関連団体、行政が連携・協働する組織として、「かわさき『農』の新生プラン推進会議」を設置し、平成 17 年 5 月 24 日（火）第 1 回推進会議を開催しました。

委員総数 15 名の内 8 名が農家代表ということで、出席された委員さんからも「市が農業・農家のことを真剣に考えて取り組むなら、私たち委員もがんばるが、推進会議を設置したことで終わりにしないでほしい。」などと熱のこもった議論が展開されました。

事務局からは、プランに基づき重点的に取り組むべき農業振興施策として、地産地消の推進と環境保全型農業の推進について説明があり、この内容についての議論は次回に引き継ぐことになりました。次回は、7 月に市内の農業の様子を視察し、その後、意見交換会を行う予定です。



かわさき「農」の新生プラン推進会議の様子

「農」とは、産業としての農産物の供給を主な目的としてきた「農業」とともに、市民にうるおいと安らぎをもたらす多面的な機能、公益的な役割を含めた農業・農地を表現しています。

今回、新生プランの概要版の写しをみなさまにお配りしていますが、農業振興センターにて、このプランの冊子も配っていますので、関心のある方はお問い合わせください。

【問い合わせ先 農業振興課農政係

860-2462】

## <農業委員会からのお知らせ>

農地法第 3 条・第 4 条・第 5 条許可、相続税・贈与税納税猶予適格者証明、買受適格証明（許可）の締切日が変わります

### 毎月 15 日の締切日を 10 日に変更します

平成 17 年 8 月から毎月 10 日に締め切り、25 日の総会で審議します

また 7 月分については農業委員の選挙があるため、7 月 5 日に締め切り、7 月 15 日に総会を開催します

相続税・贈与税納税猶予の 3 年ごとの“引き続き農業経営を行っている旨の証明”、市街化区域の農地転用届出書及び買受適格証明については、随時受け付けております。

【問い合わせ先 市農業委員会事務局 860-2461】

# 花の品評会・園芸展覧会植木の部開催される

等々力緑地で開催された花と緑の市民フェア会場において、5月27日(金)から28日(土)の2日間にわたり花の品評会と園芸展覧会植木の部が開催され、27日午前9時から神奈川県農業技術センター横浜川崎地区事務所、川崎市農業振興センター、川崎市緑化センター職員による審査が行われました。

**花**の品評会には、カンパニュラをはじめ203点が出品されました。

審査員からは、切花は出荷技術が高く、鉢物は多様な出品が見られ、どちらも品質の良いものであったと講評がありました。

なお、特別賞は次のとおりです。

神奈川県知事賞

吉田恵一(カンパニュラ・切花)

川崎市長賞

手塚和之(ジニア・鉢物)

JA セレサ川崎組合長賞

横山美正(スモークツリー・枝物)

神奈川県園芸協会会長賞

鹿島快泰(ダリア・鉢物)

神奈川県花き連会長賞

吉田義一(カンパニュラ・切花)

川崎花卉園芸株式会社社長賞

吉垣和也(小菊・切花)

横浜川崎農業改良協議会会長賞

和田政義(ガザニア・鉢物)

【敬称略】



**植木**の部(園芸展覧会)の出品点数は81点で、昨年より18点多くなりました。

長物をはじめ苗木類は根巻きの良い物が、また盆栽は作りこんだものが多く出品され、審査員からは高い生産技術がうかがえると講評がありました。



なお、特別賞は次のとおりです。

神奈川県知事賞

石川柳二(五葉松・盆栽鉢物)

川崎市長賞

小川米夫(カルミア・長物)

JA セレサ川崎組合長賞

萩原完二(さつき・盆栽鉢物)

神奈川県植木連会長賞

土方紀夫(山法師・長物)

全農神奈川県本部長賞

高橋孝次(かくれみの・苗木)

川崎市農業委員会会長賞

鈴木孝司(姫シャラ・長物)

横浜川崎農業改良協議会会長賞

関谷芳夫(さつき・盆栽鉢物)

【敬称略】

翌28日に行われた即売は、天候にも恵まれ、開始時間前から長蛇の行列ができ、1時間程度で売り切れてしまう盛況振りでした。

【問い合わせ先 農業振興課営農係 860-2462】

# 環境保全型農業への取り組みを支援します

川崎市では、平成12年3月に「環境保全型農業推進方針」を策定し、減農薬を目指した試験・研究に取り組んでいます。主な取り組みとしては、性フェロモン剤を利用した野菜や果樹の実証栽培を行っており、害虫の交信攪乱効果が実証されています。

すでに果樹においては、多くの市内ナシ生産者が性フェロモン剤を利用した減農薬栽培に取り組んでおり、川崎市は資材費の一部を補助しています。今年度から、果樹を対象とした環境保全型農業補助金制度を野菜にも拡大し、さらなる環境保全型農業の推進を図ります。

## 環境保全型農業推進事業補助金

### 交付対象

市内の農業者で組織された団体

### 交付対象資材

性フェロモン剤購入費

### 対象作物

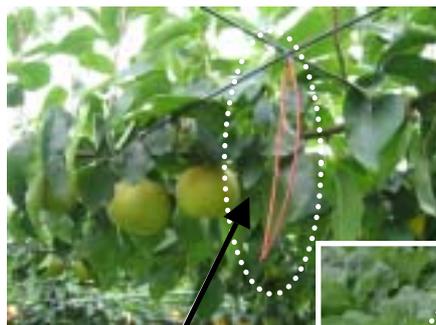
果樹、野菜

### 補助率

資材費(消費税額を除く)の1/3  
予算額の範囲内とします

### 交付申請期間

7月1日から7月31日まで



コンフューザーN  
を利用したナシ栽培



コナガコンを利用  
したキャベツ栽培

### 性フェロモン剤とは...

害虫のメスがオスを引き寄せるために出す匂いを人工的に合成したもので、これを設置することにより、オスがメスの位置を特定できなくなり交尾ができず、次の子孫の数を減らし、被害を少なくします。

### 性フェロモン剤の効果的な使用方法

本市の場合、農地が散在していることや、周辺に害虫の発生源となる樹木などが多いことから、外部で交尾を済ませたメスの成虫が飛び込むことによる被害も考えられるため、地区全体など、できるだけ広範な地域で使用することが望ましく、毎年繰り返し使用することで害虫の発生密度が低くなり、さらに効果が期待できます。

性フェロモン剤を利用することにより、無農薬栽培は困難ですが、減農薬栽培が期待できます。

【問い合わせ先 農業振興課営農係 860-2462】

## 市農業委員会一般選挙の投票日は7月10日に

7月18日に任期が満了することに伴い行われる市農業委員会委員の一般選挙は、告示日7月1日(金)、投票日7月10日(日)と決まりました。

詳しくは 市選挙管理委員会事務局選挙課 電話 200-3425 FAX 200-3951